

# 令和7年度 知的障害教育部会 活動状況報告書

事務局：青森県立八戸第二養護学校

## 1 部会構成と活動

本部会は、知的障害児を対象とする特別支援学級設置校並びに特別支援学校に勤務する教員等で構成されている。

今年度の会員数は、特別支援学級を設置する9支部（青森支部、弘前地区支部、八戸支部、東支部、南支部、西北支部、上北支部、下北支部、三戸支部）と特別支援学校支部の計10支部で1,357名であった。

それぞれの支部において、研究大会、授業研究会、研修会、作品展、研究集録の刊行等の事業が実施され、参集型、オンラインで開催した。

## 2 令和7年度研究大会等について

第68回 青森県知的障害教育研究大会下北大会

第51回 青特研知的障害教育部会特別支援学校支部研究大会青森大会

期日 令和7年11月14日（金）

会場 プラザホテルむつ

青森県立むつ養護学校

大会主題「自立と社会参加を目指した特別支援教育の在り方

～一人一人の教育的ニーズに基づいた学びの充実に向けて～

講演 演題「言葉を与えられ、言葉で語る」

講師 駒沢大学文学部社会学科 非常勤講師 平川 美穂子 氏

### [大会概要]

本大会は、参加者の活発な意見交換を通して本県の知的障害教育の充実を図ることを目的とし、午前は実践発表・研究協議及び課題別分科会、午後は記念講演を実施した。参集型で開催し、約500名が参加した。

実践発表・研究協議では、小学校、中学校、特別支援学校のテーマ別分科会に分かれ、質疑応答や他校の実践について情報共有をする機会にできた。また、課題別分科会では、提案について協議を行い、活発に意見交換をする場となった。午後の記念講演は、駒沢大学文学部社会学科非常勤講師 平川 美穂子氏をお招きし、「言葉を与えられ、言葉で語る」について御講演いただいた。「他人がどのように見ているか」客観的な自己認識を大事にすることで、自分自身を理解し他人とコミュニケーションを取るための手段を獲得していくことにつながることや他人とつながることで他者のことも理解していくことができ、社会の中で様々な人と共に生きる力につながっていくことを考える機会とすることができた。

## 3 令和8年度研究大会等について

第69回青森県知的障害教育研究大会南大会

第52回青森県知的障害教育部会特別支援学校支部研究大会黒石大会

期日 令和8年11月6日（金）

会場 スポカルイン黒石 等（現在検討中）